(12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2003 年1 月30 日 (30.01.2003)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 03/009301 A1

(51) 国際特許分類[7]: G11C 7/00, G06F 12/00

(21) 国際出願番号: PCT/JP01/06191

(22) 国際出願日: 2001 年7 月17 日 (17.07.2001)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 三菱電機株式会社 (MITSUBISHI DENKI KABUSHIKI KAISHA) [JP/JP]; 〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 Tokyo (JP).

(72) 発明者; および
(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 山崎 敏 (YAMAZAKI, Satoshi) [JP/JP]; 〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 三菱電機株式会社内 Tokyo (JP).

(74) 代理人: 深見久郎, 外 (FUKAMI, Hisao et al.); 〒530-0054 大阪府大阪市北区南森町2丁目1番29号 三井住友銀行南森町ビル Osaka (JP).

(81) 指定国 (国内): CN, JP, US.

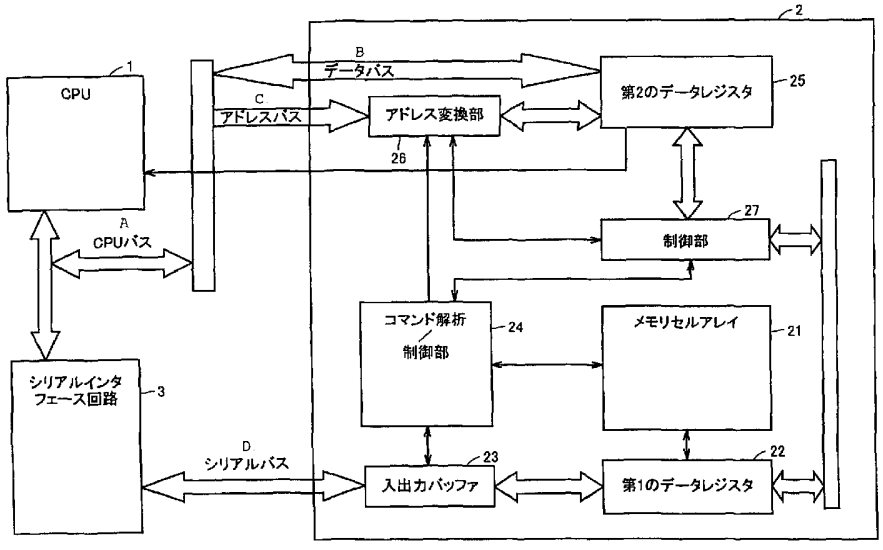
(84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR).

添付公開書類:
— 国際調査報告書

２文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: STORAGE DEVICE

(54) 発明の名称: 記憶装置



A...CPU BUS
3...SERIAL INTERFACE CIRCUIT
B...DATA BUS
C...ADDRESS BUS
D...SERIAL BUS
26...ADDRESS TRANSLATION UNIT
24...COMMAND ANALYSIS/CONTROL UNIT
23...INPUT/OUTPUT BUFFER
25...SECOND DATA REGISTER
27...CONTROL UNIT
21...MEMORY CELL ARRAY
22...FIRST DATA REGISTER

(57) Abstract: A command analysis/control unit (24) transfers the data of a memory cell array (21) to a second data register (25) when it receives a data transfer command through an input/output buffer (23). An address translation unit (26) translates the logic address, as inputted from a CPU (1), into a physical address of the second data

[続葉有]

WO 03/009301 A1

register (25) and outputs it to the second data register (25), so that the CPU (1) can make a random access to the second data register (25). As a result, the CPU (1) can make a random access to the memory cell array (21) thereby to improve the processing speed of a device such as a mobile telephone carrying a storage device.

(57) 要約:

コマンド解析／制御部（２４）が、入出力バッファ（２３）を介してデータ転送コマンドを受けると、メモリセルアレイ（２１）のデータを第２のデータレジスタ（２５）に転送する。アドレス変換部（２６）は、ＣＰＵ（１）から入力された論理アドレスを第２のデータレジスタ（２５）の物理アドレスに変換して、第２のデータレジスタ（２５）へ出力するので、ＣＰＵ（１）は第２のデータレジスタ（２５）にランダムにアクセスすることが可能となる。その結果、ＣＰＵ（１）はメモリセルアレイ（２１）にランダムにアクセスすることができ、記憶装置を搭載した携帯電話等の装置の処理速度を向上させることが可能となる。

明細書

記憶装置

技術分野

本発明は、携帯電話等で使用される記憶装置に関し、特に、シリアルでデータを入出力する記憶装置に関する。

背景技術

近年、携帯電話が広く普及し、それに伴って携帯電話の小型化、多機能化などの要望がさらに高まりつつある。携帯電話の小型化に対する要望を満たすためには、携帯電話に搭載されるＬＳＩ（Large Scale Integrated circuit）を高集積化してＬＳＩの数を減らしたり、ＬＳＩのピン数を少なくしてチップサイズを小さくしたりすることが必要となる。また、携帯電話の多機能化に対する要望を満たすためには、アプリケーションの処理速度を向上させることが必要となる。

図５は、従来の携帯電話における回路構成の一例を示す図である。この携帯電話は、携帯電話全体の制御を行なうＣＰＵ（Central Processing Unit）１００と、アプリケーションや動画などが格納される記憶装置２００と、記憶装置２００との間でシリアルデータの入出力を行なうシリアルインタフェース回路３００と、携帯電話の主要な機能を実現するプログラムが記憶されるプログラムメモリ４００と、ワークエリアとして使用されるワークメモリ５００とを含む。

ＣＰＵ１００がプログラムメモリ４００またはワークメモリ５００にアクセスする場合には、パラレルバスであるＣＰＵバスを介してアクセスを行なう。また、ＣＰＵ１００が記憶装置２００にアクセスする場合には、シリアルインタフェース回路３００がシリアル／パラレル変換を行なうことによって、そのアクセスを可能にしている。

記憶装置２００は、ユーザデータであるアプリケーションプログラムや動画データなどを記憶するメモリセルアレイ２０１と、メモリセルアレイ２０１に対するアクセス時にデータが一時的に格納されるデータレジスタ２０２と、シリアル

インタフェース回路３００との間でシリアルデータの入出力を行なう入出力制御
、入出力制御部２０３を介して入力されたコマンドを解析して記憶装
体の制御を行なうコマンド解析／制御部２０４とを含む
アレイ２０１は、ＮＡＮＤ型またはＡＮＤ型のフラッシュメモリに
れる。

ＣＰＵ１００が記憶装置２００にデータを書込む場合には、ＣＰＵ１００がＣＰＵバスを介してシリアルインタフェース回路３００にライトコマンドを発行した後、メモリセルアレイ２０１のアドレスと、ライトデータとをシリアルインタフェース回路３００に出力する。シリアルインタフェース回路３００は、ＣＰＵ１００からライトコマンド、メモリセルアレイ２０１のアドレスおよびライトデータを受けると、それらをシリアルデータに変換して入出力制御部２０３へ出力する。

入出力制御部２０３は、シリアルインタフェース回路３００から受けたライトコマンドおよびメモリセルアレイ２０１のアドレスをパラレルデータに変換して、コマンド解析／制御部２０４へ出力する。また、入出力制御部２０３は、シリアルインタフェース回路３００から受けたライトデータをパラレルデータに変換してデータレジスタ２０２に書込む。

コマンド解析／制御部２０４は、入出力制御部２０３から受けたコマンドを解析して、ライトコマンドであることを認識すると、メモリセルアレイ２０１にアドレスを出力して、データレジスタ２０２に格納されたライトデータをメモリセルアレイ２０１に書込む。

ＣＰＵ１００が記憶装置２００からデータを読出す場合には、ＣＰＵ１００がＣＰＵバスを介してシリアルインタフェース回路３００にリードコマンドを発行した後、メモリセルアレイ２０１のアドレスをシリアルインタフェース回路３００に出力する。シリアルインタフェース回路３００は、ＣＰＵ１００からリードコマンドおよびメモリセルアレイ２０１のアドレスを受けると、それらをシリアルデータに変換して入出力制御部２０３へ出力する。

入出力制御部２０３は、シリアルインタフェース回路３００から受けたリードコマンドおよびメモリセルアレイ２０１のアドレスをパラレルデータに変換して、

コマンド解析／制御部２０４へ出力する。コマンド解析／制御部２０４は、入出
２０３から受けたコマンドを解析して、リードコマンドであることを認
メモリセルアレイ２０１にアドレスを出力して、メモリ
０１からデータを読出して、データレジスタ２０２に書込む。

入出力制御部２０３は、データレジスタ２０２に書込まれたデー
シリアルデータに変換し、シリアルインタフェース回路３００へ出力する。シリアルインタフェース回路３００は、入出力制御部２０３から受けたシリアルデータをパラレルデータに変換して、リードデータとしてＣＰＵ１００へ出力する。

記憶装置２００には、ユーザデータとしてアプリケーションプログラムや動画データなどが格納されるが、上述したようにＣＰＵ１００が記憶装置２００からデータを読出す場合には、リードコマンドを発行してデータを読出す必要がある。したがって、ＣＰＵ１００は記憶装置２００に格納されたデータをランダムにアクセスすることができないため、記憶装置２００に格納されたアプリケーションプログラムを実行する場合には、一旦ランダムアクセスが可能な記憶装置にアプリケーションプログラムを転送した後、そのアプリケーションプログラムを実行する必要があり、処理速度が低下するといった問題点があった。

また、記憶装置のデータの入出力がシリアルで行なわれるため、記憶装置に格納されているアプリケーションプログラムや動画データなどを入替えるのに時間がかかり、処理速度が低下するといった問題点もあった。

さらには、ＣＰＵ１００が記憶装置２００に格納されたデータをランダムにアクセスすることができないため、携帯電話の主要な機能を実現するプログラムが記憶されるプログラムメモリ４００と、記憶装置２００内のメモリセルアレイ２０１とを統合することができず、部品のコストおよび実装面積を削減することができないといった問題点があった。

本発明は、上記問題点を解決するためになされたものであり、第１の目的は、携帯電話等の処理速度を向上させることが可能な記憶装置を提供することである。

第２の目的は、携帯電話等の装置内の部品のコストおよび実装面積を削減することが可能な記憶装置を提供することである。

発明の開示

)ある局面に従えば、記憶装置は、メモリセルアレイと、メモリセルア
-タを一時的に格納し、外部からパラレルでアクセス可能
スタと、外部から入力されたシリアルデータをパラレルデータに変
バッファと、入出力バッファによってパラレルデータに変換された
析して、メモリセルアレイとデータレジスタとの間のデータ転送を制御するコマンド解析／制御部と、外部から入力された論理アドレスをデータレジスタの物理アドレスに変換して、データレジスタへ出力するアドレス変換部とを含む。

アドレス変換部が外部から入力された論理アドレスをデータレジスタの物理アドレスに変換して、データレジスタへ出力するので、外部のＣＰＵはデータレジスタにランダムにアクセスすることが可能となる。その結果、外部のＣＰＵはメモリセルアレイにランダムにアクセスすることができ、記憶装置を搭載した携帯電話等の装置の処理速度を向上させることが可能となる。また、外部のＣＰＵはメモリセルアレイにランダムにアクセスすることができるので、主要な機能を実現するプログラム等をメモリセルアレイに格納することができ、携帯電話等の装置の部品のコストおよび実装面積を削減することが可能となる。

好ましくは、記憶装置はさらにメモリセルアレイの論理先頭アドレス、メモリセルアレイの論理最後尾アドレス、およびデータレジスタの物理先頭アドレスが、メモリセルアレイの領域毎に登録されるアドレス変換テーブルを含み、アドレス変換部は、外部から入力された論理アドレスとアドレス変換テーブルに登録された論理先頭アドレスとの減算結果、アドレス変換テーブルに登録された論理最後尾アドレスと外部から入力された論理アドレスとの減算結果、およびアドレス変換テーブルに登録された物理先頭アドレスに基づいて、データレジスタの物理アドレスを算出する。

したがって、外部から入力された論理アドレスをデータレジスタの物理アドレスに容易に変換することが可能となる。

好ましくは、記憶装置はさらにメモリセルアレイのデータを一時的に格納する、データレジスタとは異なるデータバッファを含み、入出力バッファは、データバッファに格納されたデータをシリアルデータに変換して外部へ出力する。

したがって、メモリセルアレイに格納されたデータをシリアルデータに変換し
へ出力することが可能となる。

好ましくは、コマンド解析／制御部は、入出力バッファか
タ転送コマンドを受けると、メモリセルアレイのデータをデータ
した後、データバッファに格納されるデータをデータレジスタに転

メモリセルアレイのデータをデータレジスタに転送するので、外部のＣＰＵがデータレジスタにアクセスすることによって、メモリセルアレイのデータをランダムにアクセスすることが可能となる。

さらに好ましくは、コマンド解析／制御部は、入出力バッファから第２のデータ転送コマンドを受けると、データレジスタのデータをデータバッファに転送した後、データバッファに格納されるデータをメモリセルアレイに転送する。

したがって、外部のＣＰＵが書換えたデータレジスタのデータをメモリセルアレイに書き戻すことが可能となる。

本発明の別の局面に従えば、メモリセルアレイと、メモリセルアレイのデータを一時的に格納し、外部からパラレルでアクセス可能なデータレジスタとを含んだ記憶装置の制御方法であって、外部から入力されたシリアルデータをパラレルデータのコマンドに変換するステップと、コマンドを解析して、メモリセルアレイとデータレジスタとの間のデータ転送を制御するステップと、外部から入力された論理アドレスをデータレジスタの物理アドレスに変換して、データレジスタへ出力するステップとを含む。

外部から入力された論理アドレスをデータレジスタの物理アドレスに変換して、データレジスタへ出力するので、外部のＣＰＵはデータレジスタにランダムにアクセスすることが可能となる。その結果、外部のＣＰＵはメモリセルアレイにランダムにアクセスすることができ、記憶装置を搭載した携帯電話等の装置の処理速度を向上させることが可能となる。また、外部のＣＰＵはメモリセルアレイにランダムにアクセスすることができるので、主要な機能を実現するプログラム等をメモリセルアレイに格納することができ、携帯電話等の装置の部品のコストおよび実装面積を削減することが可能となる。

好ましくは、外部から入力された論理アドレスをデータレジスタの物理アドレ

スに変換して、データレジスタへ出力するステップは、外部から入力された論理
に予め登録されたメモリセルアレイの論理先頭アドレスとの減算結果、
されたメモリセルアレイの論理最後尾アドレスと外部から
理アドレスとの減算結果、および予め登録されたデータレジスタの
レスに基づいて、データレジスタの物理アドレスを算出するステッ

したがって、外部から入力された論理アドレスをデータレジスタの物理アドレスに容易に変換することが可能となる。

好ましくは、記憶装置はさらにメモリセルアレイのデータを一時的に格納する、データレジスタとは異なるデータバッファを含み、記憶装置の制御方法はさらに、データバッファに格納されたデータをシリアルデータに変換して外部へ出力するステップを含む。

したがって、メモリセルアレイに格納されたデータをシリアルデータに変換して、外部へ出力することが可能となる。

さらに好ましくは、コマンドを解析して、メモリセルアレイとデータレジスタとの間のデータ転送を制御するステップは、第１のデータ転送コマンドを受けると、メモリセルアレイのデータをデータバッファに転送した後、データバッファに格納されるデータをデータレジスタに転送するステップを含む。

メモリセルアレイのデータをデータレジスタに転送するので、外部のＣＰＵがデータレジスタにアクセスすることによって、メモリセルアレイのデータをランダムにアクセスすることが可能となる。

さらに好ましくは、コマンドを解析して、メモリセルアレイとデータレジスタとの間のデータ転送を制御するステップは、第２のデータ転送コマンドを受けると、データレジスタのデータをデータバッファに転送した後、データバッファに格納されるデータをメモリセルアレイに転送するステップを含む。

したがって、外部のＣＰＵが書換えたデータレジスタのデータをメモリセルアレイに書き戻すことが可能となる。

図面の簡単な説明

図１は、本発明の実施例における携帯電話の回路構成を示す図である。

図２Ａ～図２Ｆは、本発明の実施例における記憶装置２のコマンドシーケンスための図である。

本発明の実施例における記憶装置２のリードデータ時の明するためのフローチャートである。

図４は、本発明の実施例における記憶装置２のライトデータ時の明するためのフローチャートである。

図５は、従来の携帯電話の回路構成を示す図である。

発明を実施するための最良の形態

本発明をより詳細に説明するために、添付の図面にしたがってこれを説明する。

図１は、本発明の実施例における携帯電話の回路構成を示す図である。この携帯電話は、携帯電話全体の制御を行なうＣＰＵ１と、携帯電話の主要な機能を実現するプログラム、アプリケーションプログラム、動画データなどが格納される記憶装置２と、記憶装置２との間でシリアルデータの入出力を行なうシリアルインタフェース回路３とを含む。

記憶装置２は、携帯電話の主要な機能を実現するプログラム、ユーザデータであるアプリケーションプログラムや動画データなどを記憶するメモリセルアレイ２１と、メモリセルアレイ２１に対するアクセス時にデータが一時的に格納される第１のデータレジスタ２２と、シリアルインタフェース回路３との間でシリアルデータの入出力を行なう入出力バッファ２３と、入出力バッファ２３を介して入力されたコマンドを解析して記憶装置２全体の制御を行なうコマンド解析／制御部２４と、ＣＰＵ１がメモリセルアレイ２１に格納されたプログラムやデータをパラレルでアクセスする際に、プログラムやデータが一時的に格納される第２のデータレジスタ２５と、ＣＰＵ１が第２のデータレジスタ２５に格納されたプログラムまたはデータを読出すときの第２のデータレジスタ２５のアドレスを生成するアドレス変換部２６と、コマンド解析／制御部２４からの指示に応じて第２のデータレジスタ２５およびアドレス変換部２６を制御する制御部２７とを含む。

メモリセルアレイ２１は、ＮＡＮＤ型またはＡＮＤ型のフラッシュメモリによ

って構成される。このメモリセルアレイ２１は、３２ＭＢ程度の大容量のフラッ
ﾕによって構成されるが、これに限られるものではない。
ﾃﾞータレジスタ２２は、ＣＰＵ１がシリアルインタフェー
して記憶装置２からデータを読出す場合や、メモリセルアレイ２１
データを第２のデータレジスタ２５へ転送する場合にデータを一時
この第１のデータレジスタは、５１２ｂｉｔ程度のＳＲＡＭ（Static Random Access Memory）によって構成されるが、これに限られるものではない。なお、第１のデータレジスタ２２と、メモリセルアレイ２１との間のデータ転送は、５１２ビット単位で一度に行なわれる。

入出力バッファ２３は、シリアルインタフェース回路３から出力されるシリアルデータをバッファリングすることによって、シリアルデータをパラレルデータに変換する。また、第１のデータレジスタ２２から入出力バッファ２３へデータが転送されると、入出力バッファ２３はバッファリングされたデータを１ビットずつシリアルインタフェース回路３へ出力することによって、パラレルデータをシリアルデータに変換する。

第２のデータレジスタ２５は、ＣＰＵ１がメモリセルアレイ２１に格納されたデータをパラレルでアクセスする場合にデータを一時的に格納する。この第２のデータレジスタ２５は、２ＭＢ～８ＭＢ程度のＳＲＡＭによって構成される。なお、第２のデータレジスタ２５と、第１のデータレジスタ２１との間のデータ転送は、制御部２７による制御によって５１２ビット単位で一度に行なわれる。

アドレス変換部２６は、ＣＰＵ１が出力するメモリセルアレイ２１の論理アドレスを、第２のデータレジスタ２５の物理アドレスに変換する。アドレス変換部２６は、内部にアドレス変換テーブルを有しており、このアドレス変換テーブルの内容に応じて、論理アドレスを物理アドレスに変換する。メモリセルアレイ２１は、幾つかの領域に分割され、その領域単位でメモリセルアレイ２１のデータが第２のデータレジスタ２５にマッピングされる。

アドレス変換テーブルには、ＣＰＵ１がアクセスしようとするメモリセルアレイ２１の領域の論理先頭アドレスと、ＣＰＵ１がアクセスしようとするメモリセルアレイ２１の領域の論理最後尾アドレスと、メモリセルアレイ２１の領域が第

２のデータレジスタ２５に転写された場合の第２のデータレジスタ２５における
アドレスと、メモリセルアレイ２１の領域が第２のデータレジスタ２５
た場合の第２のデータレジスタ２５における物理最後尾
領域毎に予め登録される。ＣＰＵ１から論理アドレスが出力されると
変換部２６は以下の手順でアドレス変換を行なう。

① ＣＰＵ１が出力した論理アドレスから、アドレス変換テーブルに登録されている全ての論理先頭アドレスのそれぞれを減算する。

② アドレス変換テーブルに登録されている全ての論理最後尾アドレスのそれぞれから、ＣＰＵ１が出力した論理アドレスを減算する。

③ 上記①と②との結果が共に正となる領域を特定し、その領域に対応する物理先頭アドレスを特定する。

④ 特定された物理先頭アドレスに①で算出された減算結果を加算して、その値を第２のデータレジスタ２５の物理アドレスとして出力する。

制御部２７は、第１のデータレジスタ２２と第２のデータレジスタ２５との間のデータ転写を制御する。第１のデータレジスタ２２から第２のデータレジスタ２５へデータを転写する場合には、コマンド解析／制御部２４から、第１のデータレジスタ２２から第２のデータレジスタ２５へのデータ転写要求が通知される。制御部２７は、アドレス変換部２６内のアドレス変換テーブルを参照し、第２のデータレジスタ２５の空き領域の物理先頭アドレスを抽出する。

制御部２７は、第１のデータレジスタ２２に格納されているデータを、第２のデータレジスタ２５の空き領域の物理先頭アドレスから順に、第２のデータレジスタ２５へ転送する。コマンド解析／制御部２４から指示があった全てのデータを、第１のデータレジスタ２２から第２のデータレジスタ２５へ転送したときに、データを転写した第２のデータレジスタ２５の領域の物理先頭アドレスおよび物理最後尾アドレスをアドレス変換テーブルに登録する。最後に、制御部２７は、コマンド解析／制御部２４に対してデータ転写の完了を通知する。

第２のデータレジスタ２５から第１のデータレジスタ２２へデータを転写する場合には、コマンド解析／制御部２４から、第２のデータレジスタ２５から第１のデータレジスタ２２へのデータ転写要求が通知される。制御部２７は、指定さ

れた第２のデータレジスタ２５の領域のデータを第１のデータレジスタ２２に転
データの転写が完了したときに、制御部２７はコマンド解析／制御部２
タ転写の完了を通知する。

図２Ａ～図２Ｆは、コマンド解析／制御部２４のコマンドシー
るための図である。図２Ａは、メモリセルアレイ２１のデータリー
シーケンスを示している。入出力バッファ２３からコマンド解析／制御部２４にデータリードコマンド（１０ｈ）が入力された後、メモリセルアレイ２１のアドレスが入力されると、コマンド解析／制御部２４は指定されたメモリセルアレイ２１のデータを第１のデータレジスタ２２へ転送する。そして、コマンド解析／制御部２４は第１のデータレジスタ２２に格納されたデータを順次入出力バッファ２３へ転送することによって、シリアルバスを介してシリアルインタフェース回路３へシリアルデータを出力する。

図２Ｂは、メモリセルアレイ２１のデータライトのコマンドシーケンスを示している。入出力バッファ２３からコマンド解析制御部２４にデータライトコマンド（２０ｈ）およびメモリセルアレイ２１のアドレスが入力されると、それに続くデータが第１のデータレジスタ２２に書込まれる。コマンド解析／制御部２４は、第１のデータレジスタ２２に格納されているデータを、指定されたメモリセルアレイ２１のアドレスに書込む。最後に、処理が正常に終了したか否かを示すステータスがシリアルインタフェース回路３へ出力される。

図２Ｃは、メモリセルアレイ２１の全消去のコマンドシーケンスを示している。入出力バッファ２３からコマンド解析／制御部２４に全消去コマンド（Ｆ０ｈ）が入力されると、コマンド解析／制御部２４はメモリセルアレイ２１を制御して、メモリセルアレイ２１の全てのデータを消去する。最後に、処理が正常に終了したか否かを示すステータスがシリアルインタフェース回路３へ出力される。

図２Ｄは、メモリセルアレイ２１のブロック消去のコマンドシーケンスを示す図である。入出力バッファ２３からコマンド解析／制御部２４にブロック消去コマンド（３０ｈ）およびメモリセルアレイ２１のブロック指定が入力されると、コマンド解析／制御部２４はメモリセルアレイ２１を制御して、指定されたメモリセルアレイ２１のブロックのデータを消去する。最後に、処理が正常に終了し

たか否かを示すステータスがシリアルインタフェース回路３へ出力される。

は、メモリセルアレイ２１から第２のデータレジスタ２５へのデータ転
ンドシーケンスを示す図である。入出力バッファ２３か
／制御部２４に、メモリセルアレイ２１から第２のデータレジス
タ転送コマンド（４０ｈ）、メモリセルアレイ２１のアドレスお
スが入力されると、コマンド解析／制御部２４はメモリセルアレイ２１の指定されたアドレスのデータを第１のデータレジスタ２２に転送する。そして、コマンド解析／制御部２４は、制御部２７に対して第１のデータレジスタ２２から第２のデータレジスタ２５へのデータ転写の要求を通知する。このとき、コマンド解析／制御部２４は、指定された論理アドレスをアドレス変換部２６へ出力する。最後に、処理が正常に終了したか否かを示すステータスがシリアルインタフェース回路３へ出力される。

図２Ｆは、第２のデータレジスタ２５からメモリセルアレイ２１へのデータ転送のコマンドシーケンスを示す図である。入出力バッファ２３からコマンド解析／制御部２４に、第２のデータレジスタ２５からメモリセルアレイ２１へのデータ転送コマンド（４Ｄｈ）、メモリセルアレイ２１のアドレスおよび論理アドレスが入力されると、コマンド解析／制御部２４は指定された論理アドレスをアドレス変換部２６へ出力する。コマンド解析／制御部２４は、制御部２７に対して第２のデータレジスタ２５から第１のデータレジスタ２２へのデータ転写の要求を通知する。そして、第１のデータレジスタ２２に格納されたデータをメモリセルアレイ２１の指定されたアドレスに転送する。最後に、処理が正常に終了したか否かを示すステータスがシリアルインタフェース回路３へ出力される。

図３は、本発明の実施例における記憶装置２のリードデータ時の処理手順を説明するためのフローチャートである。まず、ＣＰＵ１がシリアルインタフェース回路３を介してメモリセルアレイ２１から第２のデータレジスタ２５へのデータ転送コマンド、メモリセルアレイ２１の物理アドレス範囲およびＣＰＵバスを介して読出そうとする論理アドレスを、入出力バッファ２３に出力する（Ｓ１１）。

コマンド解析／制御部２４は、メモリセルアレイ２１を制御して、指定された物理アドレス範囲のデータを第１のデータレジスタ２２に転送させるとともに、

アドレス変換部２６にＣＰＵバスを介して読出そうとする論理アドレスを出力す
２）。

コマンド解析／制御部２４は、制御部２７に第１のデータ
に格納されているデータを第２のデータレジスタ２５に転写させる
ドレス変換部２６に第２のデータレジスタ２５への転写先となる物
出力する（Ｓ１３）。

アドレス変換部２６は、ＣＰＵ１がアクセスしようとするメモリセルアレイ２１の領域の論理先頭アドレスおよび論理最後尾アドレスと、データ転写先である第２のデータレジスタ２５における物理先頭アドレスおよび物理最後尾アドレスとを関連付けて、アドレス変換テーブルに登録する（Ｓ１４）。そして、コマンド解析／制御部２４は、入出力バッファ２３およびシリアルインタフェース回路３を介して、ＣＰＵ１に第２のデータレジスタ２５へのデータ書込みが完了したことを通知する（Ｓ１５）。

ＣＰＵ１がアドレスバスに論理アドレスを出力して、第２のデータレジスタ２５へのアクセスを行なうと（Ｓ１６）、アドレス変換部２６がアドレス変換テーブルを参照して、論理アドレスをデータが転写されている第２のデータレジスタ２５の物理アドレスに変換し、第２のデータレジスタ２５へ出力する（Ｓ１７）。ＣＰＵ１は、第２のデータレジスタ２５が出力したデータをＣＰＵバスを介して読込む（Ｓ１８）。そして、ステップＳ１６に戻って以降の処理を繰返す。

図４は、本発明の実施例における記憶装置２のライトデータ時の処理手順を説明するためのフローチャートである。まず、ＣＰＵ１がシリアルインタフェース回路３を介して第２のデータレジスタ２５からメモリセルアレイ２１へのデータ転送コマンド、メモリセルアレイ２１へ書込もうとするデータの論理アドレス範囲、およびメモリセルアレイ２１の物理アドレスを、入出力バッファ２３に出力する（Ｓ２１）。

コマンド解析／制御部２４は、制御部２７に対して第２のデータレジスタ２５のデータを第１のデータレジスタ２２に転写するよう指示する（Ｓ２２）。制御部２７は、書込み対象のデータが存在する第２のデータレジスタ２５の物理アドレス範囲をアドレス変換部２６から取得し、第２のデータレジスタ２５から第１

のデータレジスタ２２へ書込み対象のデータが転写される（Ｓ２３）。

データレジスタ２２へのデータ書込みが完了すると、制御部２７はデー
みが完了したことをコマンド解析／制御部２４に通知す
コマンド解析／制御部２４が制御部２７から通知を受けると、第
スタ２２に書込まれたデータを、メモリセルアレイ２１の指定さ
スに書込むように制御信号をメモリセルアレイ２１に出力することにより（Ｓ２５）、メモリセルアレイ２１にデータが書込まれる（Ｓ２６）。

このように本実施の形態においては、例えばランダムアクセスできない構造を有したＮＡＮＤ型やＡＮＤ型のメモリセルアレイ２１に記憶されたデータの一部を、シリアル入力されたコマンドに応じて、ランダムアクセス可能な構造を有したＳＲＡＭ等の第２のデータレジスタ２５に転送する。ＣＰＵ１がその転送データを読出そうとする際に出力する論理アドレスとその転送データの第２のデータレジスタ２５における物理アドレスとの関係をアドレス変化情報として記憶する。ＣＰＵ１からアドレスバスを介してアドレス変換部２６に論理アドレスが入力された場合に、当該論理アドレスを前記アドレス変換情報に基づき第２のデータレジスタ２５における物理アドレスに変換し、該物理アドレスに記憶されたデータをデータバス等を介してＣＰＵ１までパラレルに伝送する。

以上説明したように、本実施の形態における記憶装置によれば、コマンド解析／制御部２４がメモリセルアレイ２１からパラレルでアクセス可能な第２のデータレジスタ２５にデータを転送し、アドレス変換部２６がＣＰＵ１がメモリセルアレイ２１にアクセスする際に出力した論理アドレスを第２のデータレジスタ２５の物理アドレスに変換して第２のデータレジスタ２５に出力するようにしたので、ＣＰＵ１はメモリセルアレイ２１に格納されたデータをランダムにアクセスすることができ、記憶装置が搭載された携帯電話等の処理速度を向上させることが可能となった。

また、ＣＰＵ１がメモリセルアレイ２１に格納されたデータをランダムにアクセスすることができるので、携帯電話の主要な機能を実現するプログラム等をメモリセルアレイ２１に格納することができ、別個のプログラムメモリを搭載する必要がなくなった。したがって、携帯電話等の部品のコストおよび実装面積を削

減することが可能となった。

示された実施の形態は、すべての点で例示であって制限的なものではな

られるべきである。本発明の範囲は上記した説明ではなく

範囲によって示され、特許請求の範囲と均等の意味および範囲内て

更が含まれることが意図される。

請求の範囲

「セルアレイ（２１）と、

前記メモリセルアレイ（２１）のデータを一時的に格納し、外部でアクセス可能なデータレジスタ（２５）と、

外部から入力されたシリアルデータをパラレルデータに変換する入出力バッファ（２３）と、

前記入出力バッファ（２３）によってパラレルデータに変換されたコマンドを解析して、前記メモリセルアレイ（２１）と前記データレジスタ（２５）との間のデータ転送を制御するコマンド解析／制御部（２４，２７）と、

外部から入力された論理アドレスを前記データレジスタ（２５）の物理アドレスに変換して、前記データレジスタ（２５）へ出力するアドレス変換部（２６）とを含む記憶装置。

２．前記記憶装置はさらに、前記メモリセルアレイ（２１）の論理先頭アドレス、前記メモリセルアレイ（２１）の論理最後尾アドレス、および前記データレジスタ（２５）の物理先頭アドレスが、前記メモリセルアレイ（２１）の領域毎に登録されるアドレス変換テーブルを含み、

前記アドレス変換部（２６）は、外部から入力された論理アドレスと前記アドレス変換テーブルに登録された論理先頭アドレスとの減算結果、前記アドレス変換テーブルに登録された論理最後尾アドレスと前記外部から入力された論理アドレスとの減算結果、および前記アドレス変換テーブルに登録された物理先頭アドレスに基づいて、前記データレジスタ（２５）の物理アドレスを算出する、請求項１記載の記憶装置。

３．前記記憶装置はさらに、前記メモリセルアレイ（２１）のデータを一時的に格納する、前記データレジスタ（２５）とは異なるデータバッファ（２２）を含み、

前記入出力バッファ（２３）は、前記データバッファ（２２）に格納されたデータをシリアルデータに変換して外部へ出力する、請求項１記載の記憶装置。

４．前記コマンド解析／制御部（２４，２７）は、前記入出力バッファ（２３）

から第１のデータ転送コマンドを受けると、前記メモリセルアレイ（２１）のデ
ヨデータバッファ（２２）に転送した後、前記データバッファ（２２）
いるデータを前記データレジスタ（２５）に転送する、請
記憶装置。

５．前記コマンド解析／制御部（２４，２７）は、前記入出力バッ
から第２のデータ転送コマンドを受けると、前記データレジスタ（２５）のデータを前記データバッファ（２２）に転送した後、前記データバッファ（２２）に格納されるデータを前記メモリセルアレイ（２１）に転送する、請求項３記載の記憶装置。

６．メモリセルアレイ（２１）と、前記メモリセルアレイ（２１）のデータを一時的に格納し、外部からパラレルでアクセス可能なデータレジスタ（２５）とを含んだ記憶装置の制御方法であって、

外部から入力されたシリアルデータをパラレルデータのコマンドに変換するステップと、

前記コマンドを解析して、前記メモリセルアレイ（２１）と前記データレジスタ（２５）との間のデータ転送を制御するステップと、

外部から入力された論理アドレスを前記データレジスタ（２５）の物理アドレスに変換して、前記データレジスタ（２５）へ出力するステップとを含む、記憶装置の制御方法。

７．前記外部から入力された論理アドレスを前記データレジスタ（２５）の物理アドレスに変換して、前記データレジスタ（２５）へ出力するステップは、前記外部から入力された論理アドレスと予め登録された前記メモリセルアレイ（２１）の論理先頭アドレスとの減算結果、予め登録された前記メモリセルアレイ（２１）の論理最後尾アドレスと前記外部から入力された論理アドレスとの減算結果、および予め登録された前記データレジスタ（２５）の物理先頭アドレスに基づいて、前記データレジスタ（２５）の物理アドレスを算出するステップを含む、請求項６記載の記憶装置の制御方法。

８．前記記憶装置はさらに、前記メモリセルアレイ（２１）のデータを一時的に格納する、前記データレジスタ（２５）とは異なるデータバッファ（２２）を含

み、

記憶装置の制御方法はさらに、前記データバッファ（２２）に格納されたデータをシリアルデータに変換して外部へ出力するステップを含む

載の記憶装置の制御方法。

９．前記コマンドを解析して、前記メモリセルアレイ（２１）と前記データレジスタ（２５）との間のデータ転送を制御するステップは、第１のデータ転送コマンドを受けると、前記メモリセルアレイ（２１）のデータを前記データバッファ（２２）に転送した後、前記データバッファ（２２）に格納されるデータを前記データレジスタ（２５）に転送するステップを含む、請求項８記載の記憶装置の制御方法。

１０．前記コマンドを解析して、前記メモリセルアレイ（２１）と前記データレジスタ（２５）との間のデータ転送を制御するステップは、第２のデータ転送コマンドを受けると、前記データレジスタ（２５）のデータを前記データバッファ（２２）に転送した後、前記データバッファ（２２）に格納されるデータを前記メモリセルアレイ（２１）に転送するステップを含む、請求項８記載の記憶装置の制御方法。

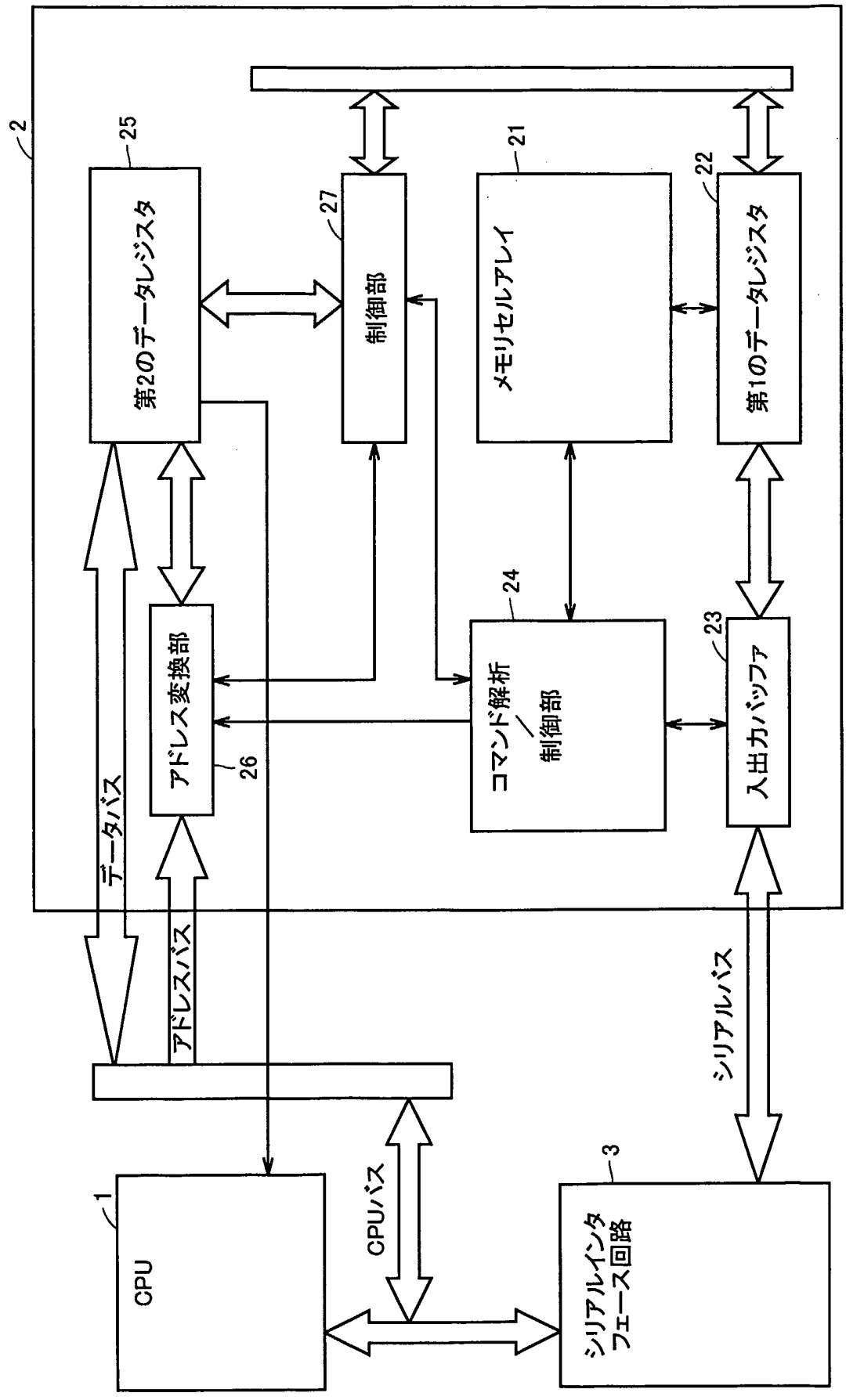

2
25
第2のデータレジスタ
27
制御部
21
メモリセルアレイ
22
第1のデータレジスタ
アドレス変換部
26
24
コマンド解析
制御部
23
入出力バッファ
データバス
アドレスバス
シリアルバス
CPUバス
1
CPU
3
シリアルインタ
フェース回路

FIG.1

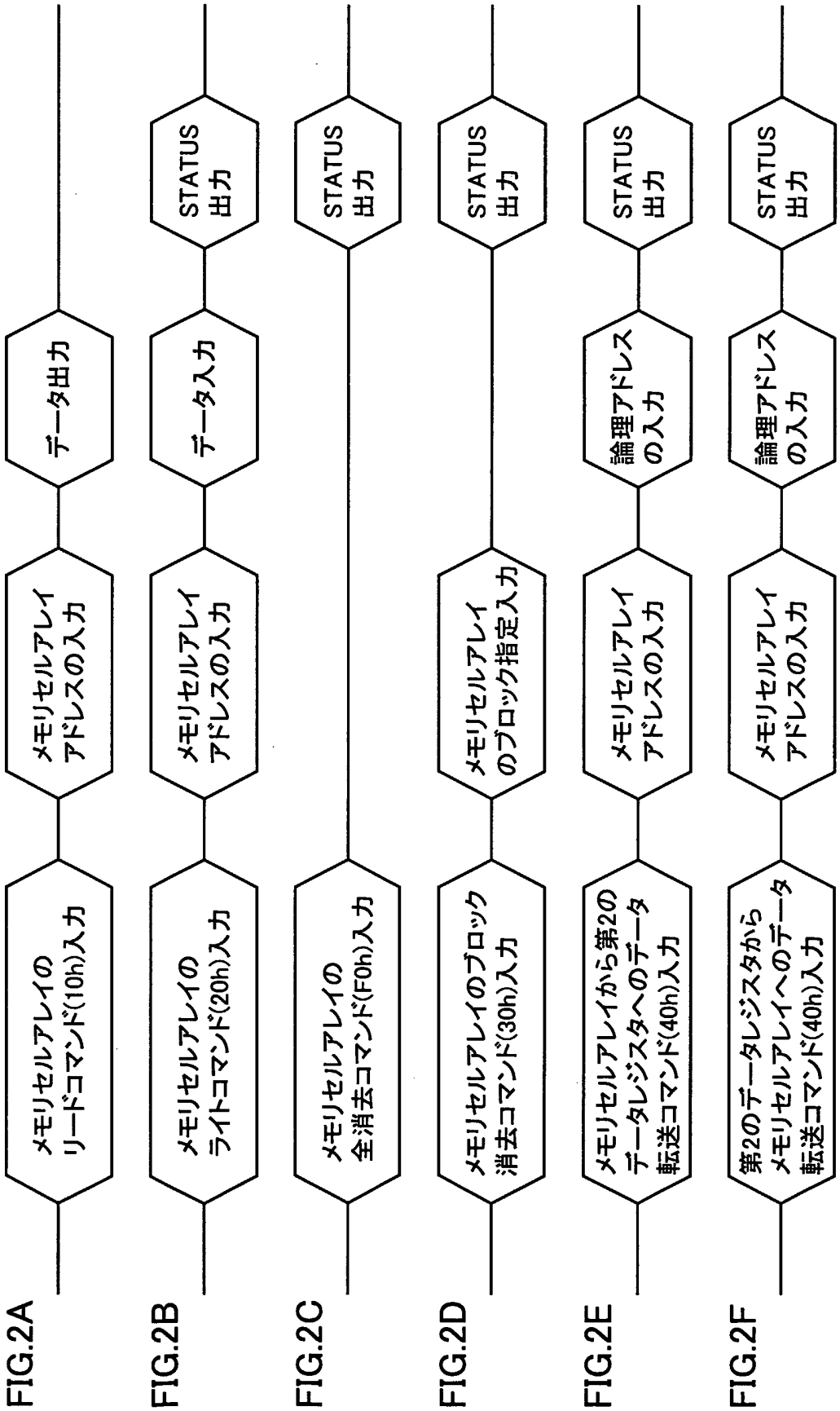


FIG.2A FIG.2B FIG.2C FIG.2D FIG.2E FIG.2F

FIG.3

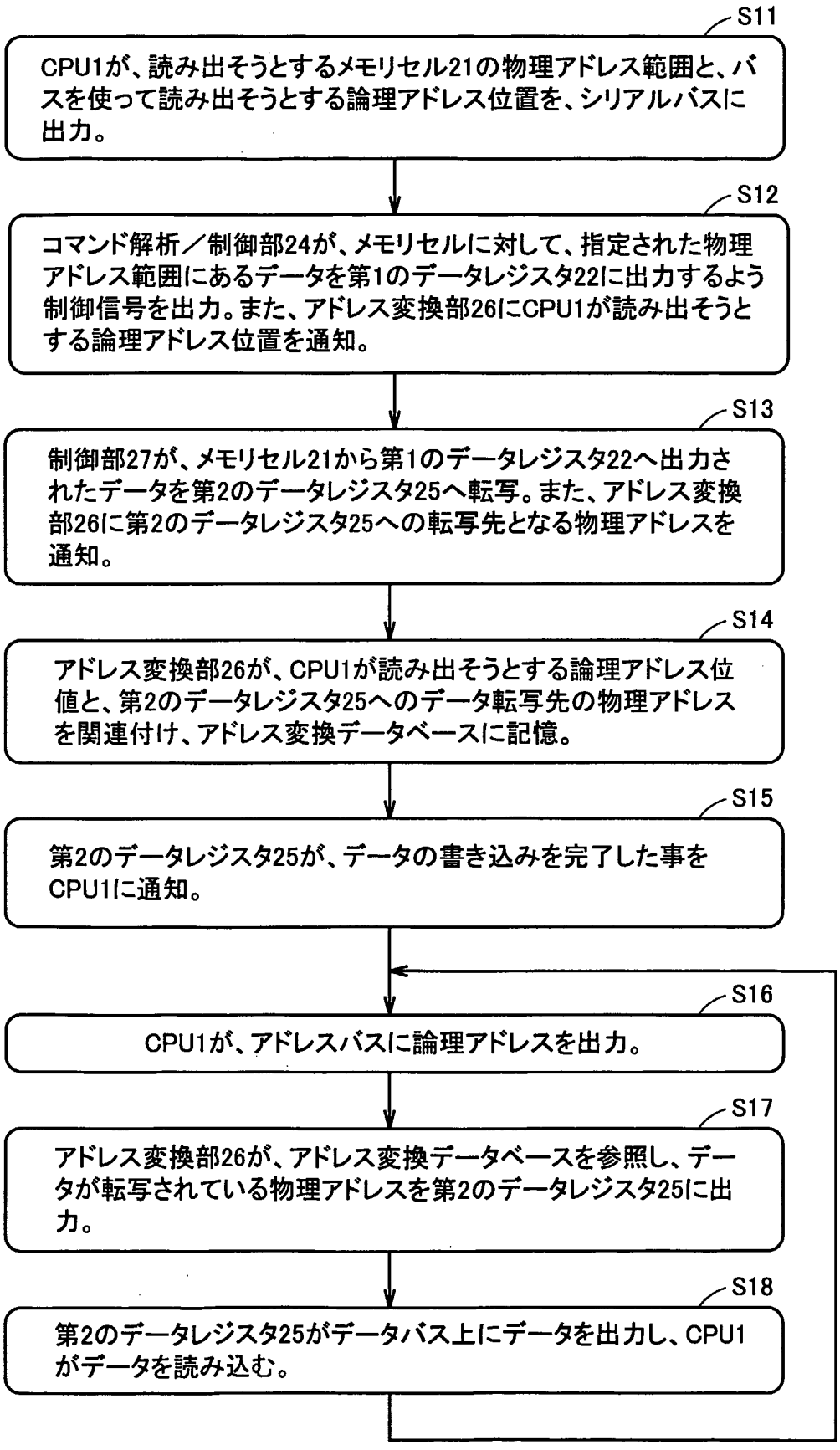

S11
CPU1が、読み出そうとするメモリセル21の物理アドレス範囲と、バスを使って読み出そうとする論理アドレス位置を、シリアルバスに出力。
S12
コマンド解析／制御部24が、メモリセルに対して、指定された物理アドレス範囲にあるデータを第1のデータレジスタ22に出力するよう制御信号を出力。また、アドレス変換部26にCPU1が読み出そうとする論理アドレス位置を通知。
S13
制御部27が、メモリセル21から第1のデータレジスタ22へ出力されたデータを第2のデータレジスタ25へ転写。また、アドレス変換部26に第2のデータレジスタ25への転写先となる物理アドレスを通知。
S14
アドレス変換部26が、CPU1が読み出そうとする論理アドレス位値と、第2のデータレジスタ25へのデータ転写先の物理アドレスを関連付け、アドレス変換データベースに記憶。
S15
第2のデータレジスタ25が、データの書き込みを完了した事をCPU1に通知。
S16
CPU1が、アドレスバスに論理アドレスを出力。
S17
アドレス変換部26が、アドレス変換データベースを参照し、データが転写されている物理アドレスを第2のデータレジスタ25に出力。
S18
第2のデータレジスタ25がデータバス上にデータを出力し、CPU1がデータを読み込む。

FIG.4

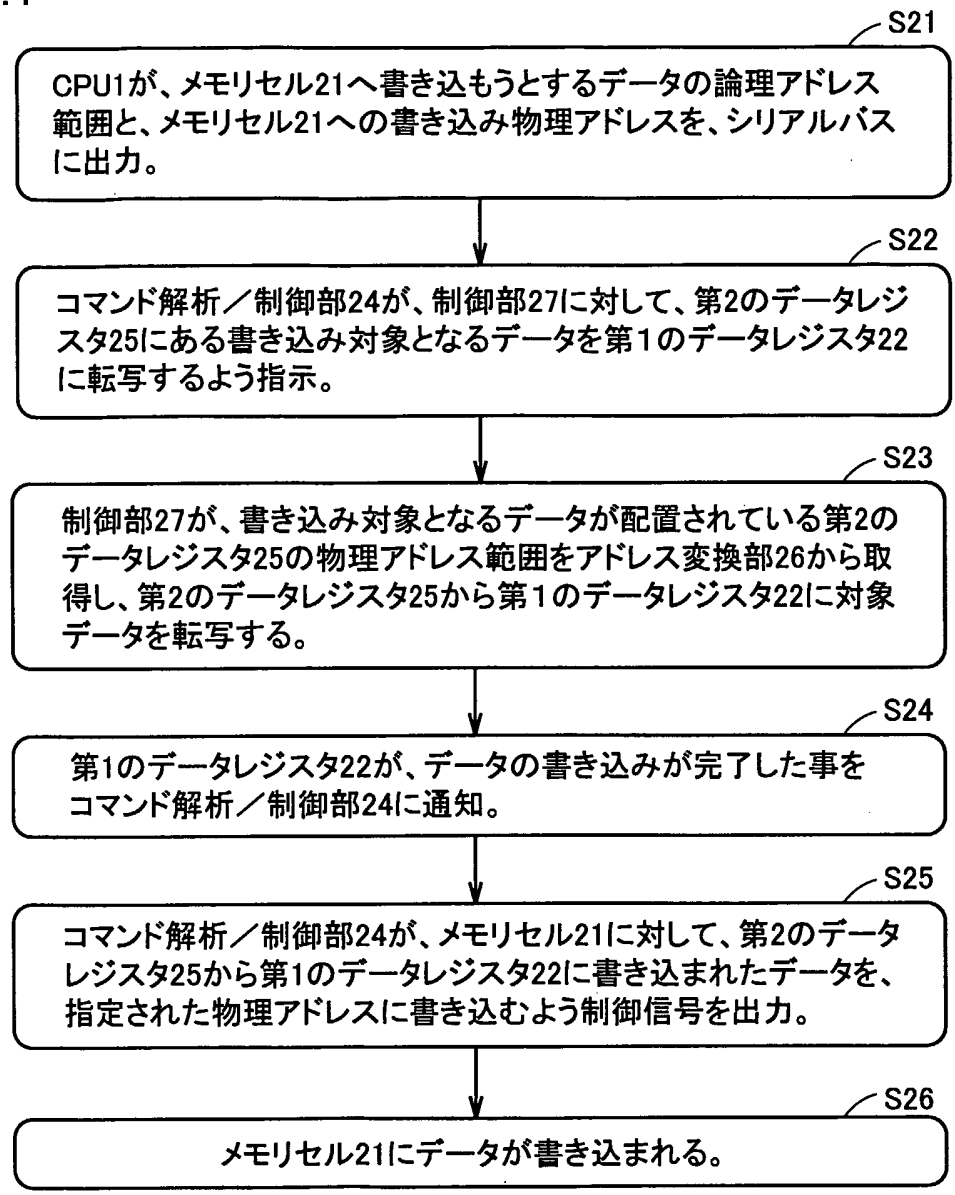
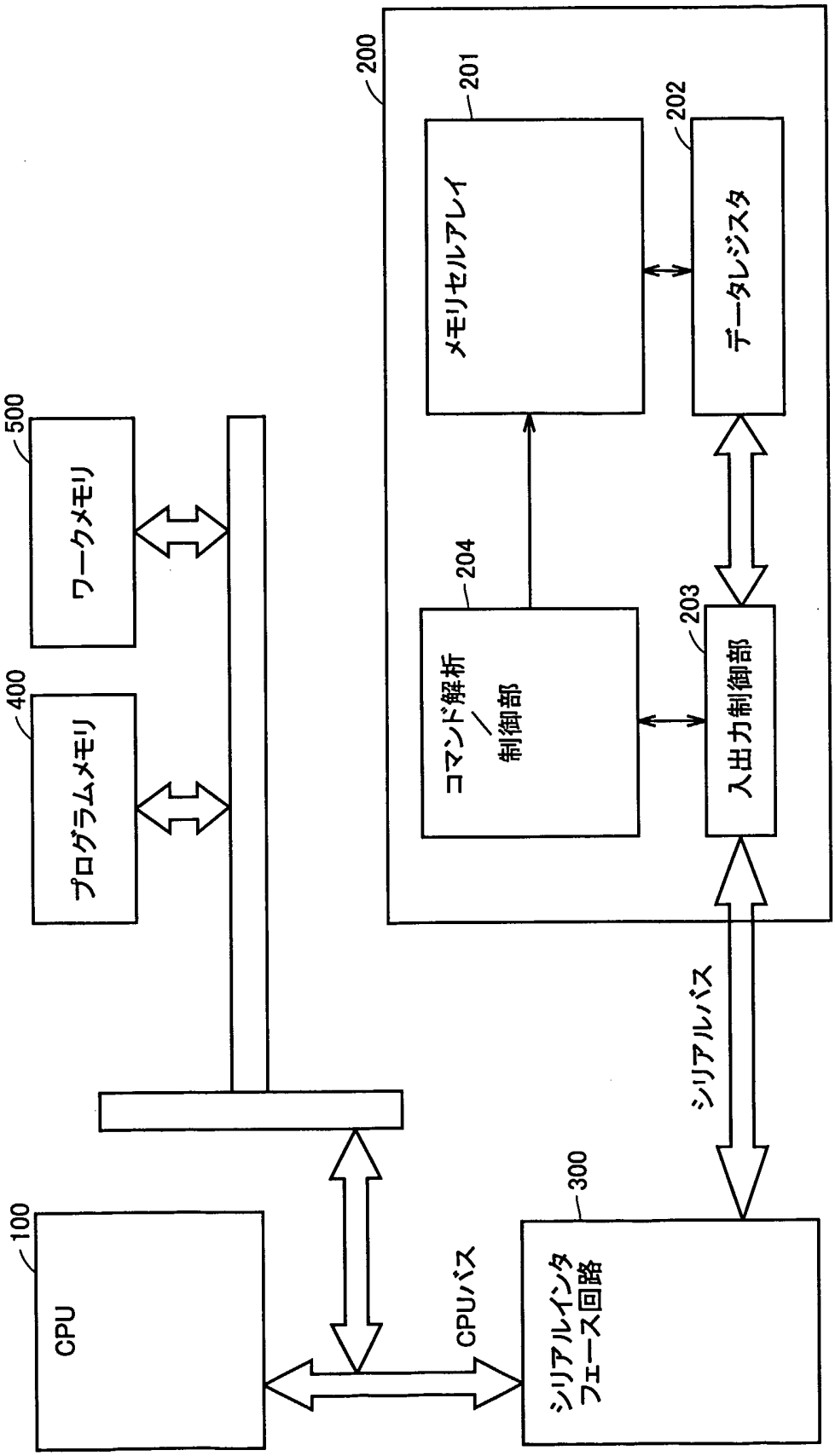

S21
CPU1が、メモリセル21へ書き込もうとするデータの論理アドレス範囲と、メモリセル21への書き込み物理アドレスを、シリアルバスに出力。
S22
コマンド解析／制御部24が、制御部27に対して、第2のデータレジスタ25にある書き込み対象となるデータを第1のデータレジスタ22に転写するよう指示。
S23
制御部27が、書き込み対象となるデータが配置されている第2のデータレジスタ25の物理アドレス範囲をアドレス変換部26から取得し、第2のデータレジスタ25から第1のデータレジスタ22に対象データを転写する。
S24
第1のデータレジスタ22が、データの書き込みが完了した事をコマンド解析／制御部24に通知。
S25
コマンド解析／制御部24が、メモリセル21に対して、第2のデータレジスタ25から第1のデータレジスタ22に書き込まれたデータを、指定された物理アドレスに書き込むよう制御信号を出力。
S26
メモリセル21にデータが書き込まれる。

FIG.5


200
201
メモリセルアレイ
202
データレジスタ
204
コマンド解析
制御部
203
入出力制御部
500
ワークメモリ
400
プログラムメモリ
100
CPU
CPUバス
300
シリアルインタ
フェース回路
シリアルバス

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP01/06191

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
Int.Cl[7] G11C 7/00, G06F12/00

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
Int.Cl[7] G11C 7/00, G06F12/00, G11C11/34, G11C16/06

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched
Jitsuyo Shinan Koho 1926-1996 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2001
Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2001 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2001

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 11-242629 A (Matsushita Electric Ind. Co., Ltd.), 07 September, 1999 (07.09.99), Full text; all drawings & KR 99036958 A	1-10
A	JP 2000-163313 A (Ricoh Company, Ltd.), 16 June, 2000 (16.06.00), Full text; all drawings (Family: none)	1-10
A	JP 2000-182381 A (Mitsubishi Electric Corporation), 30 June, 2000 (30.06.00), Full text; all drawings (Family: none)	1-10

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
"E" earlier document but published on or after the international filing date
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed
"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search	Date of mailing of the international search report
05 October, 2001 (05.10.01)	16 October, 2001 (16.10.01)
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office	Authorized officer
Facsimile No.	Telephone No.

Form PCT/ISA/210 (second sheet) (July 1992)

国際調査報告

国際出願番号　PCT／JP01／06191

A.　発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC））
Int.Cl⁷　G11C　7／00，321
Int.Cl⁷　G06F12／00，570

B.　調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC））
Int.Cl⁷　G11C　7／00，321　　Int.Cl⁷　G06F12／00
Int.Cl⁷　G11C11／34
Int.Cl⁷　G11C16／06

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの
日本国実用新案公報　1926－1996年
日本国公開実用新案公報　1971－2001年
日本国実用新案登録公報　1996－2001年
日本国登録実用新案公報　1994－2001年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C.　関連すると認められる文献

引用文献のカテゴリー＊	引用文献名　及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する請求の範囲の番号
A	JP 11-242629 A（松下電器産業株式会社） 7.9月.1999（07.09.99），全文，全図 & KR 99036958 A	1－10
A	JP 2000-163313 A（株式会社リコー） 16.6月.2000（16.06.00），全文，全図　（ファミリーなし）	1－10
A	JP 2000-182381 A（三菱電機株式会社） 30.6月.2000（30.06.00），全文，全図　（ファミリーなし）	1－10

☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。　　☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

＊　引用文献のカテゴリー
「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献
「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日	国際調査報告の発送日
05．10．01	16.10.01

国際調査機関の名称及びあて先
日本国特許庁（ISA／JP）
郵便番号100－8915
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）　5N　8731
飯田　清司
電話番号　03－3581－1101　内線　6846